おひさまっこ保育園自己評価表

２０２４年度　評価責任者：施設長　菊池彩子

	今年度の活動	評価・反省　課題
施設管理	感染症の予防対策として、部屋とトイレの間にアクリル板を設置しました。	アクリル板を設置したことで、感染症が広がらないよう予防対策ができました。今後も毎月点検をし、施設管理に努めていきます。
人事管理	保育補助の職員の子育て支援員の資格習得を支援し、子育て支援員を配置することができました。	保育補助として勤務していた職員が資格を習得することで、子どもや保護者にとっても安心でき、安定して運営できました。
保護者対応	大きな災害を想定し、保育参観日に保護者への引き渡し訓練を行いました。ニーズに応え、衛生管理と健康把握の両立を踏まえたうえで紙おむつ処理を導入しました。	引き渡し訓練を行うことで、保護者も災害時の動きがイメージできたい、防災の意識の高まることにもつながりました。紙おむつの処理を導入したことで、子どもの健康把握もしながら、持ち帰りの荷物の軽減になりました。
健康及び安全	冬にインフルエンザや下痢や嘔吐の症状が認められる児が数名いましたが、今年度も健康面では、感染症など大きな広がりはありませんでした。どの職員も児の痙攣に対応できるよう、学習とシミュレーションを行い、実践に活かしました。事故件数は０件で、大きなけがはなく受診症例はありませんでした。	引き続き看護師と『身体の日』を設け健康管理に努めてきたことが、健康管理について保護者とも考える機会になり、季節的な感染症も大きく広がりませんでした。 いつ起こるかわからない痙攣に対して、どの職員も対応できるようにし、子どもが安全に過ごすことと保護者の安心につながりました。
小学校・地域連携	自治会、社会福祉協議会と連携し、場所の提供、ボランティアの受け入れ、放課後子どもクラブ後の生活支援の場としての『おひさまの家』事業を継続し、地域の方と在園児の交流する機会を設けてきました。また、おひさま保育園の卒園児（高学年）を対象とした『おひさまクラブ』では、在園児の着脱や睡眠時の手伝いをする機会をもちました。	うたごえサークルに児も参加することで地域の高齢者の方の喜びや励みにもつながり、また児にとっても昔ながらの文化に触れる時間になっています。ボランティアや小学生との関わりでは、お互いに心地よく、つながりを感じられる機会になっています。今後も、地域福祉の拠点としての役割が担えるよう取り組んでいきます。
保育の質の向上	園内研修ではおひさま保育園と共に研究者に参画いただき、乳児の手の動きや保育環境について、保育実践から学ぶ機会を持ちました。法人研修では、『子どもの発達と保育環境』というテーマで研修し、また、昨年度に引き続き職員の沖縄の平和研修の報告、「歴史を学び歴史をつくる」というテーマで法人理解を深め、同法人の職員と意見交流する機会を持ちました。	園内だけでなく他園の職員と意見交流することで、気付きや発見、学びがあり、保育の幅が広がりました。開園から８年目を迎える次年度は、小規模保育園ならではの異年齢保育、小集団での保育やこれまでの保育をまとめ、全国保育団体合同研究集会で提案し、これからの保育絵運営に活かしていきます。
地域との関わり	豊中市の子育て支援事業「マイ子育てひろば」に姉妹園のおひさま保育園が参画し、自園のスマイルサポーターの職員も共に、計画、活動内容の充実等、連携して取り組んできました。 災害時の避難所としての機能が果たせるよう、備品整理を行いました。	「マイ子育てひろば」の毎週の園庭開放、月１回の地域活動に取り組み、継続して参加する親子もありました。そして、保育園への入園につながるような関係づくりができました。地域の子育て支援の場として貢献できるように、今後も計画実行していきます。
その他		

２０２５年３月記載